

世界平和コンサート in 名古屋 2026

バルカン室内管弦楽団は、2014年にはサラエボ事件*から100年の節目にサラエボで平和祈念第九コンサートを開催した。以降、毎年世界各地で「World Peace Concert」を開催している。名古屋市民コーラスはバルカン室内管弦楽団が進める世界平和コンサートプロジェクトに参画し、2014年、2018年の2回、世界平和コンサート(World Peace Concert)名古屋公演を共催している。(*オーストリアに併合されたボスニア・ヘルツェゴヴィナのサラエボで、1914年6月28日、オーストリア皇太子夫妻がセルビア人の青年に暗殺された事件。オーストリアがセルビアに宣戦布告し、第一次世界大戦の契機となった。)

ヴェルディ作曲 「レクイエム」

イタリアの作曲家ヴェルディが少年時代より敬愛した文豪マンゾーニの死を追悼するために作曲したレクイエム。マンゾーニの一周忌にあたる1874年5月22日、マンゾーニ、ヴェルディの暮らしたミラノ市、サン・マルコ教会でヴェルディ自身の指揮により初演され、その3日後にスカラ座で再演された。モーツァルト、フォーレの作品とともに「三大レクイエム」の一つに数えられる。



指揮者 やなぎさわ とし お 柳澤 寿男

旧ユーゴを中心に活動する日本人指揮者として知られる。2007年、コソボフィル首席指揮者に就任。2007年バルカン半島の民族共栄を願ってバルカン室内管弦楽団を設立。

東京、ニューヨーク、ウィーン、ジュネーブ、ベオグラード等世界各地で World Peace Concert を開催し、諏訪内晶子、パスカル・ロジェ、ペーテル・ヤブロンスキーの各氏等と協演。日本国内の演奏活動では、名フィルをはじめ、札幌、仙フィル、群響、新日フィル、日フィル、東フィル、東響、都響、シティフィル、神フィル、京都市響などに客演。

2015年より東日本大震災の復興支援のひとつとして、坂本龍一氏が音楽監督を務める東北ユースオケの指揮者を務めている。現在、バルカン室内管弦楽団音楽監督、コソボフィル首席指揮者、ベオグラード・シンフォニエッタ名誉首席指揮者。2024年には、日本とコソボとの相互理解の促進という観点から「日本国外務大臣表彰」を受賞。

名古屋市民コーラス

1959年発足。1994年にブラームス「ドイツ・レクイエム」を演奏したのを契機に、古今歌い継がれるオーケストラ付き合唱曲に取り組むことになり、毎回著名な指揮者を招聘し、プロのオーケストラとともに演奏会を行っている。週1回の定期練習と月1回の日曜練習には多彩なキャリアと幅広い年齢層の約180名が集い、常任指揮者として迎えた新進気鋭の合唱指導者、山本高栄氏の熱心でエネルギッシュな指導のもと、楽しい雰囲気練習を進めている。

愛知県合唱連盟の行事である合唱祭や名フィルの「第九」演奏会に参加するとともに、団内でも愛唱曲を歌う会や少人数アンサンブルを楽しむフェスティバルを実施するなど幅広い活動を行っている。

常任指揮者 やまもと たかひで 山本 高栄



熊本県熊本市出身。愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。渡米しニューヨークにて、合唱指揮法、音楽教育法を学ぶ。声楽を佐久間伸一、戸山俊樹の諸氏に師事。合唱指揮を三澤洋史、本山秀毅、雨森文也、大谷研二の諸氏に師事。

小中学校・高校・大学をはじめ、多数の合唱団の指導にあたる。名古屋市民コーラスでは2022年1月より常任指揮者を務めている。

《最近の活動・演奏曲》

- 2014 ベートーヴェン「第九」 柳澤寿男 指揮 バルカン室内管弦楽団他 世界平和コンサートへの道名古屋公演
- ベートーヴェン「荘厳ミサ曲」 山下一史 指揮 名古屋フィル
- 2015 「イギリス宗教音楽の饗宴」 藤岡幸男 指揮 名古屋フィル
- 2016 J.S.バッハ「ヨハネ受難曲」 本山秀毅 指揮 名古屋フィル
- 2017 ヴェルディ「レクイエム」 川瀬賢太郎 指揮 名古屋フィル
- マーラー「復活」 新田ユリ 指揮 名古屋シンフォニア管弦楽団
- 2018 ベートーヴェン「第九」 柳澤寿男 指揮 バルカン室内管弦楽団他 世界平和コンサート名古屋公演
- 2019 メンデルスゾーン「エリヤ」 角田鋼亮 指揮 名古屋フィル
- ブラームス「ドイツ・レクイエム」 下野竜也 指揮 名古屋フィル
- 2022 K.ジェンキンス「平和への道程」 柳澤寿男 指揮 名古屋フィル
- 2023 J.S.バッハ「ミサ曲短調」 本山秀毅 指揮 名古屋フィル
- ベートーヴェン「第九」「合唱幻想曲」 茂木大輔 指揮
- フィルハーモニック・ウィーン・名古屋 第19回演奏会共演
- 2024 ドヴォルザーク「レクイエム」 下野竜也 指揮 名古屋フィル
- 2025 コダーイ「ミサ・プレヴィス」 ベートーヴェン「ミサ曲ハ長調」 齋藤友香理 指揮 名古屋フィル

2027.2.21(日)共演予定

フィルハーモニック・ウィーン・名古屋

ウィーン音楽・ウィーン式管楽器をこよなく愛する東海地区のアマチュア奏者を中心に2011年に創設されたオーケストラ。管・打楽器は全員がウィーン・フィルハーモニー管弦楽団で使用されている独特のスタイルの楽器を使用し、その美しい響きを追求している。名古屋市民コーラスとは2023年に共演している。

ベルリオーズ作曲 「ロメオとジュリエット」

シェイクスピアの悲劇『ロメオとジュリエット』を題材とする「合唱、独唱、およびハーモニック・レチタティーヴォによるプロローグ付き劇的交響曲」。歌詞はフランス語。